

なかゆくい

—ダム管理業務について—

<県民の水ガメをまもるために>

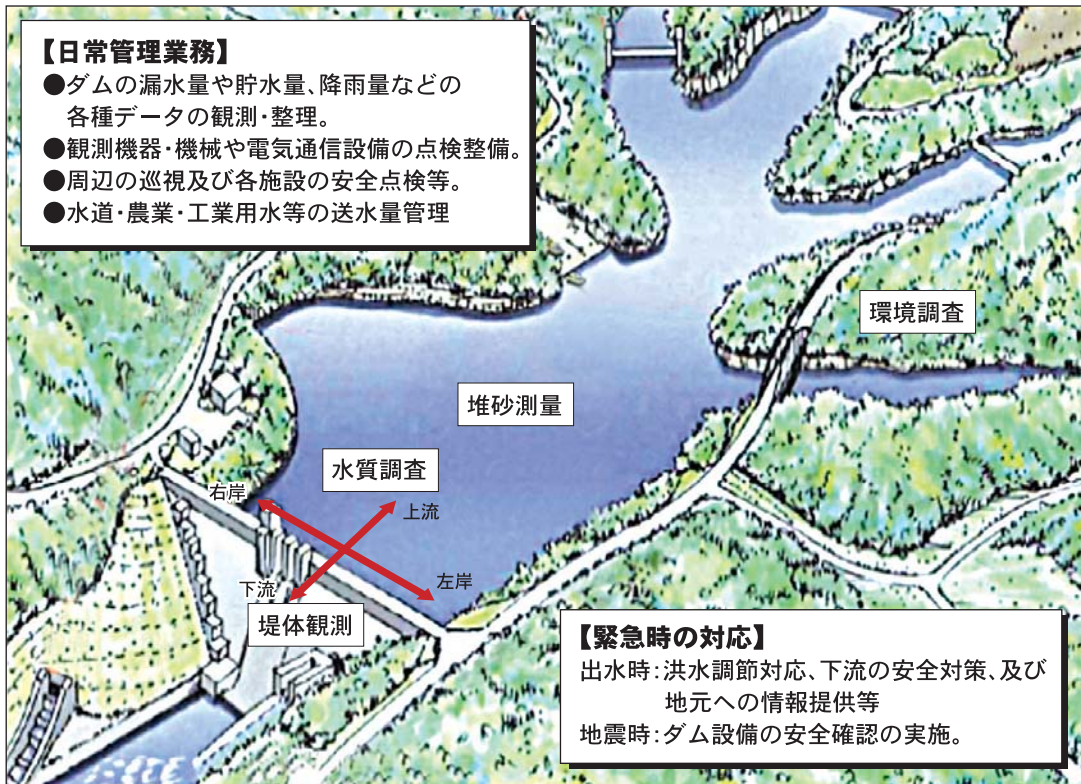
【開発建設部流域調整課】

シリーズ

3



○主なダム管理の業務



ダム管理業務は非常に多岐に渡りますが主のものとしては次のようなものがあります。

沖縄総合事務局では、7つのダム(福地・新川・安波・普久川・辺野喜・漢那・羽地)を国直轄ダムとして日々管理しています。この7ダムは沖縄本島の水道水等の約6割を供給しており、県民の水ガメとして重要な役割を担っています。今回は県民に安全・安心な水を安定的に提供するための「ダム管理業務」について簡単に紹介します。

※上記以外にも様々なダム管理の業務があります。



堆砂測量状況



貯水池以外に陸上部も測量が必要です。

堆砂測量（河川横断測量）

ダム貯水池は流入河川からの土砂流入により、少しずつですが土砂が溜まっています。ダム貯水池ではあらかじめ溜まる分の容量を確保していますが、大雨等による急激な堆砂量の増加がないか、定期的な測量を行い確認しています。沖縄のダムでは現在のところ計画並み、もしくは計画より少ない堆砂量となっています。



調査結果の判明に3週間程かかる項目もあります。



水の色で大まかな水質状況が分かります。



流入河川も調査します。



貯水池の深い所の水も調査します。

水質調査

水質調査はダム貯水池及びダムに流れ込む河川において（流入河川）水質に異常が無いかを監視するもので定期的に実施しています。県民に安全な水を提供するために非常に重要な調査と言えます。

水質調査結果については次の北部ダム統合管理事務所のHPで見ることができます。

<http://www.dc.ogb.go.jp/toukan/>



魚類等の生息状況調査



陸上生物調査ではカメラによる撮影も行います。

ダム貯水池の出現により、少なからず周辺環境へも影響を及ぼします。ダムの供用開始後も周辺環境調査を実施することにより環境の変化を監視し、必要に応じ対策することにより環境への負荷を軽減しています。



ダムコンは精密機器なので入念な点検が必要です。



調整水路の送水ゲート点検 (辺野喜ダム)



常に良好な動作を維持する為にバルブ等の整備は欠かせません。



流木処理:
ダム貯水池に流れてくる流木を集積し搬出します。



流量観測:
洪水時等の対応時に必要な下流河川の流量を調査し、河川水位と流量の関係を整理します。



各種訓練:
事故や緊急時に迅速に対応できるよう日頃から訓練しています。



持って業務を行っています。

品を

(写真の訓練は水質異常時を想定)